

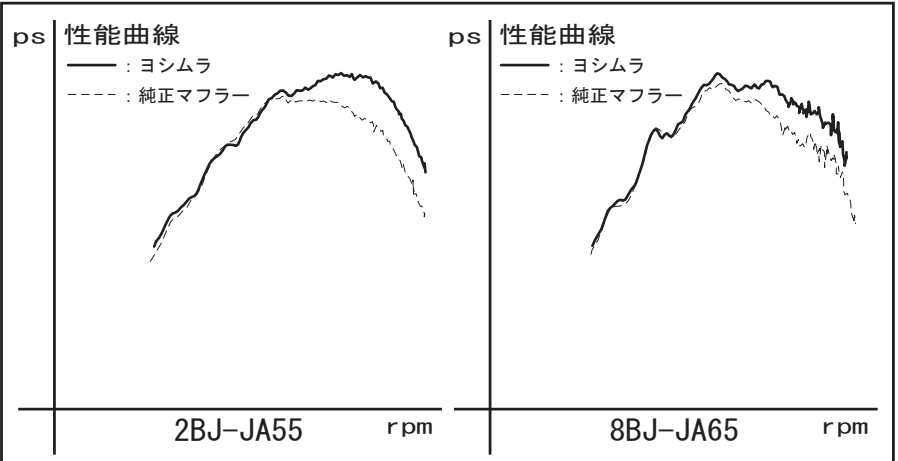
CT125 フルエキゾーストストレート762サイクロン 取扱説明書

- 作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読して下さい。
- 作業は適切な資格、知識を有する人が行って下さい。
- 車両を取り扱う際は、適切な服装にて行って下さい。
- 作業中はグローブ等を着用し、製品のエッジ部に注意して行って下さい。
- 作業中は本書を手元に置き、指示に従って作業を進めて下さい。
- 本書は製品を廃棄するまで確実に保管して下さい

▲危険 怠ると怪我につながる注意事項を示してあります。
△注意 怠ると部品の損傷等につながる注意事項を示してあります。
▶参考 スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。

1. 適応車種及び諸元表

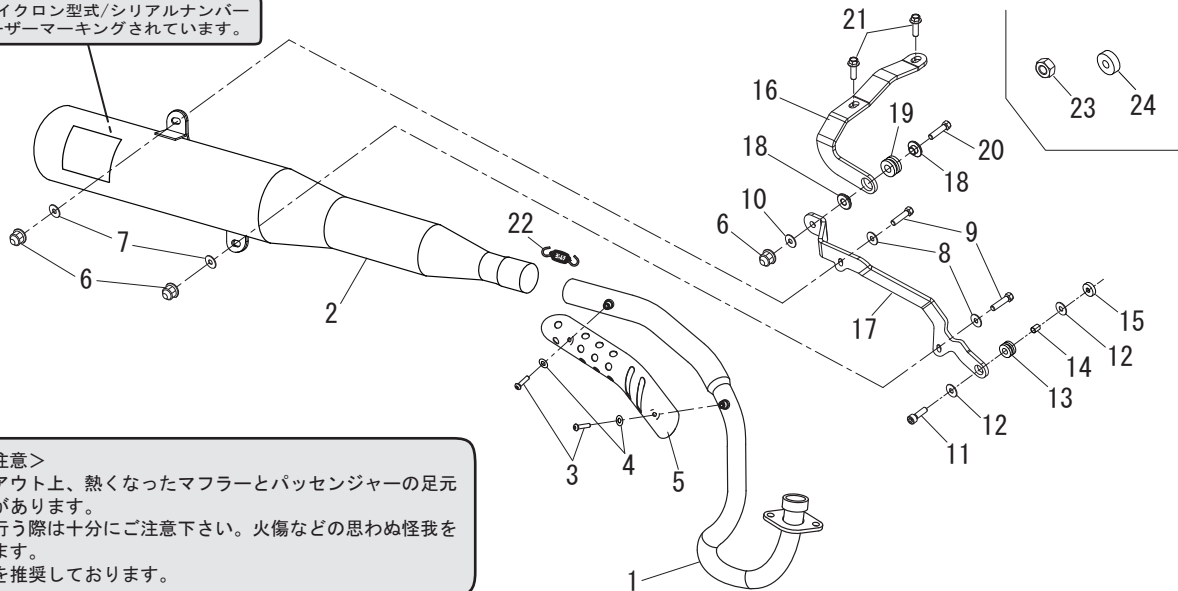
車名	HONDA CT125	
車両型式	2BJ-JA55 / 8BJ-JA65	
エンジン型式	JA55E / JA65E	
認証番号	JMCA1025001271	
サイクロン型式	H46GSST14	
素材	SUS304	
品番	ストレートマフラー	: 110A-46G-6X60
重量	純正マフラー	: 4.8 kg
	ストレートマフラー	: 3.5 kg



2. セット内容

触媒	オイル交換	オイルフィルター交換	センタースタンド	ガスケット	カウル加工	サイレンサーリメイク	再塗装サービス
有	可能	可能	可能	純正品	無	不可能	可能

ロットナンバー/サイクロン型式/シリアルナンバーは、この部分にレーザーマーキングされています。



<タンデム時のご注意>

- ・マフラーのレイアウト上、熱くなったマフラーとパッセンジャーの足元が接触する恐れがあります。
- ・タンデム走行を行う際は十分にご注意下さい。火傷などの思わぬ怪我をすることがあります。
- ・本品は一人乗りを推奨しております。

NO.	品名	数	品番	NO.	品名	数	品番
1	エキゾーストパイプ	1	111-46G-6X60	14	クロメートマキカン	1	850-108-1010
2	サイレンサー	1	139-46G-6X60	15	スペーサーカラー 8-20-3	1	860-008-2003
3	ボタネボルトM6×10ネジロック付き	2	803-806-4010	16	サイレンサーステー#1	1	161-46G-0330
4	SUSワッシャM6×13	2	812-206-1310	17	サイレンサーステー#2	1	161-46G-0360
5	ヒートガード	1	161-46G-0030	18	段付きSUSカラー 8-26-9	2	850-208-26A0
6	袋ナットM8(黒)	3	822-208-1250	19	グロメットラバー(大)	1	553-565-0000
7	SUSワッシャM8×22(黒)	2	812-908-2215	20	六角ボルトM8×35	1	802-208-5035
8	平ワッシャM8×22	2	812-108-2216	21	フランジ六角ボルトM8×25	2	805-208-5025
9	六角ボルトM8×20	2	802-208-5020	22	マフラーズプリング(フローティング)	1	118-001-0000
10	SUSワッシャM8×26(黒)	1	812-908-2615	23	六角ナットM12P1.25	1	821-312-1250
11	キャップボルトM8×30	1	800-208-5030	24	スペーサーカラー 8-20-7	1	860-008-2007
12	平ワッシャM8×20	2	812-108-2000	※	スプリング取付工具	1	100-000-0000
13	グロメットラバー(小)	1	875-511-1006				



本サイクロンの黒色塗装面に擦りキズや汚れ等が付着すると、排気の熱により塗装面にキズや跡が浮き出たり、塗装剥がれの原因になります。浮き出たキズや跡は消すことができません。以下の点を守って作業を行って下さい。

- ・取り付け等で黒色塗装面に触れる際は、綺麗な手袋を着用して下さい。
- ・脱脂、洗車等で洗剤を使用する際は中性洗剤を使用し、作業後は洗剤の付着を残さない様に水で洗い流して下さい。
- ・ウエス等で拭く際は、柔らかい材質の物を使用し、やさしく押さえる様に拭いてください。

3. 取付方法

△注意 ※作業時は部品を損傷しないよう注意して作業を行なって下さい。
※ボルト、ナット締め付けの際は必ず規定トルクを守って下さい。
ボルト、ナットの脱落・製品の破損の原因になります。

1. セット内容を確認して下さい。
2. 車両をセンタースタンドで立たせてからメーカー発行のサービスマニュアルを参照し、アンダーガード及び純正マフラーを取り外して下さい。純正マフラーを取り付けていたナットは、本製品取り付けの際に使用します。(FIG. 1参照)
3. 2BJ-JA55車両の場合、エンジンから伸びるハーネスを固定しているブラケット2箇所を一度緩め、反時計回りに回してハーネスのたるみが少なくなる様に調整し、再度固定して下さい。(FIG. 2参照)



FIG. 1

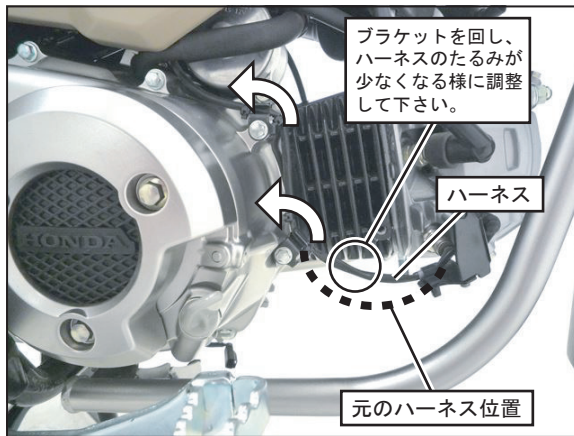


FIG. 2

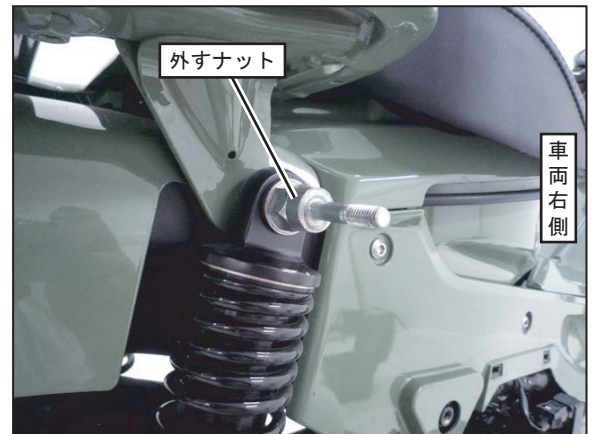


FIG. 3

4. サーマニュアルを参照し、車両左側のリアキャリアにつながるエアダクトを外してから左右リヤサスペンションの上側を留めるナットを外し、リアキャリアを留める2ヶ所のボルトを外して下さい。(FIG. 3, 4, 5参照)

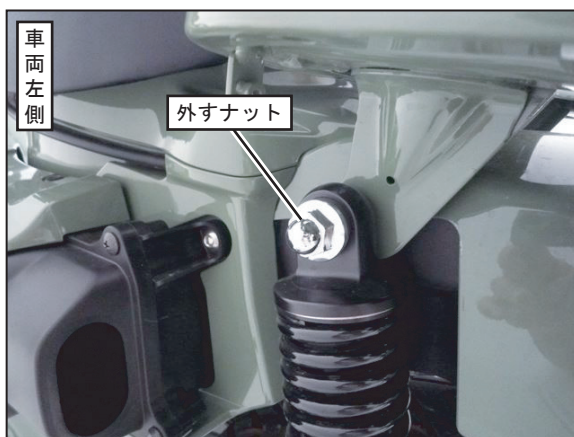


FIG. 4

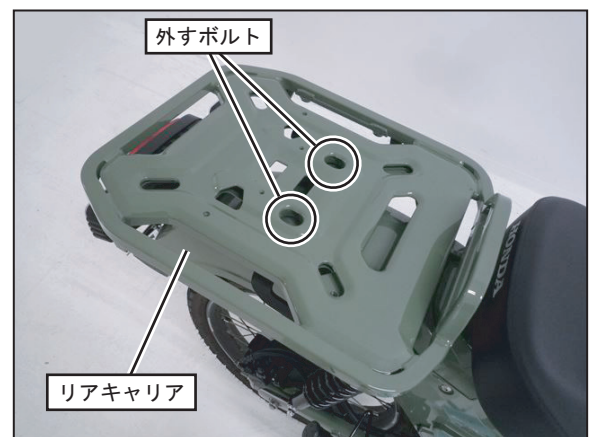


FIG. 5

5. ②マフラスター# 1 に①⑨グロメットラバー(大)、①⑧段付きカラーを取り付けて下さい。(FIG. 6 参照)

6. ②⑩六角ボルトM8×35を予め①⑥マフラスター# 1のラバー、カラーを取り付けた穴に車両側から通して下さい。

次に、リアキャリアを前側固定部を軸に持ち上げてからリアキャリアを固定するボルト穴に①⑥マフラスター# 1のボルト穴を合わせ、リアキャリアを降ろして②⑪フランジ六角ボルトM8×25を使用してリアキャリアと①⑥マフラスター# 1を仮締めして下さい。

(FIG. 7, 8 参照)

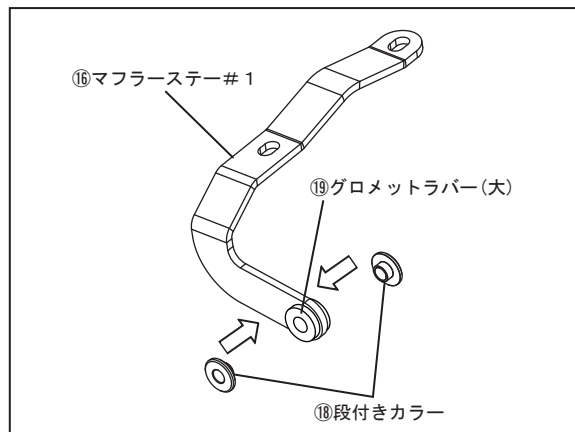


FIG. 6

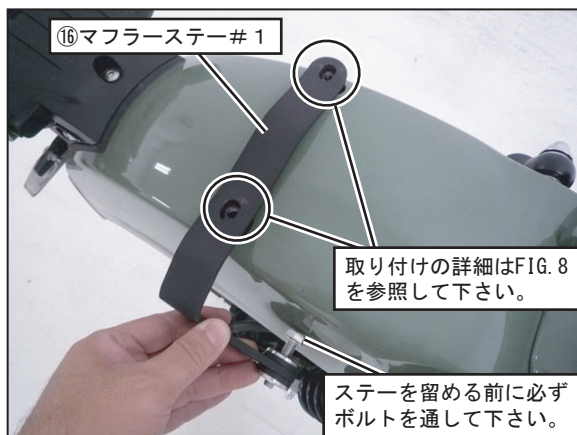


FIG. 7

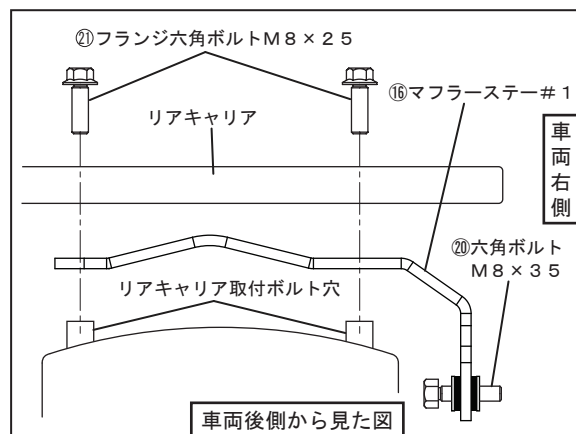


FIG. 8

7. 右側リアサスペンションの上側に左側を止めていた純正袋ナットを、左側リアサスペンション上側に②③六角ナットM12P1.25を取り付け、仮締めして下さい。(FIG. 9, 10 参照)

注意 規定トルク リアサスペンション部ナット : 4.4 Nm



FIG. 9

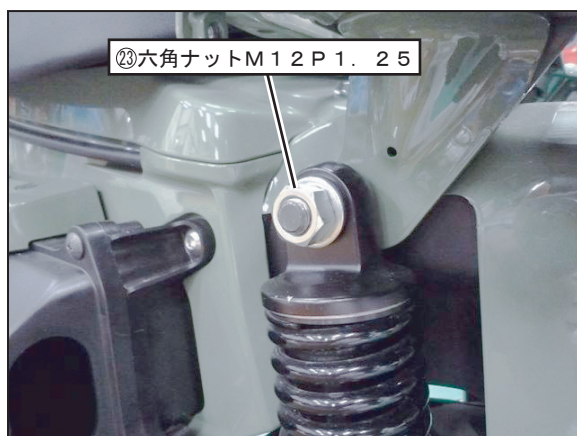


FIG. 10

8. ①⑦マフラスター# 2 に①⑬グロメットラバー(小)、①⑭クロメートマキカンを取り付けて下さい。(FIG. 11 参照)

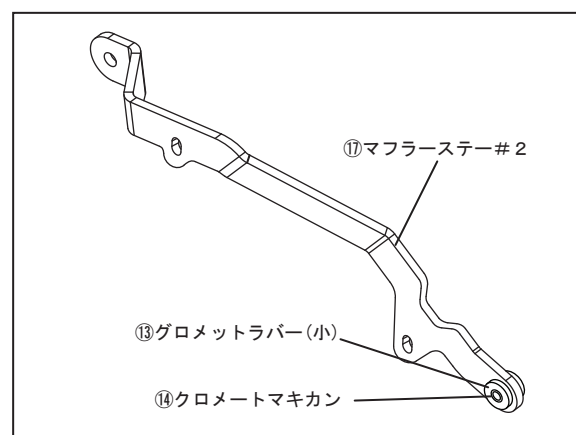


FIG. 11

9. ⑰マフラスター#2のボルト穴を手順5で⑱マフラスター#1に通した⑳六角ボルトM8×35に通し、㉑SUSワッシャM8×26(黒)、㉒袋ナットM8(黒)を使用して仮締めして下さい。(FIG. 12, 13参照)

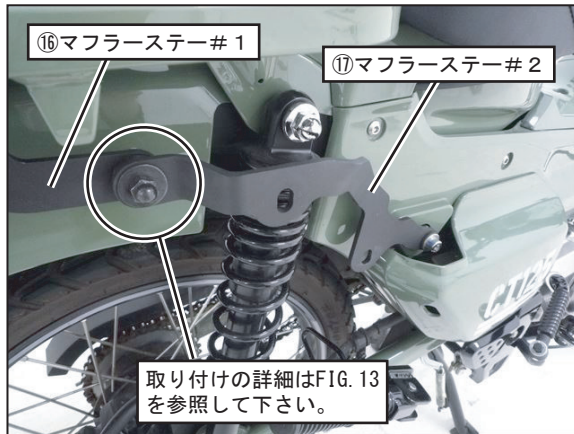


FIG. 12

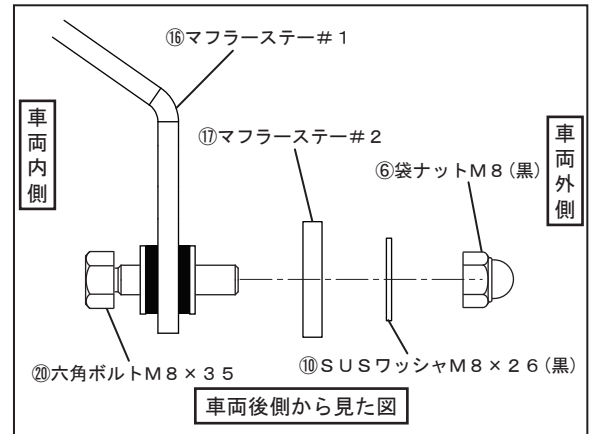


FIG. 13

10. ⑰マフラスター#2のグロメットラバーを取り付けたボルト穴を純正マフラー用のボルト穴に合わせ、キャップボルトM8×30、㉔平ワッシャM8×20及び、㉕スペーサーカラー8-20-3(8BJ-JA65の場合)又は㉖スペーサーカラー8-20-7(2BJ-JA55の場合)を使用して仮締めして下さい。(FIG. 14, 15参照)

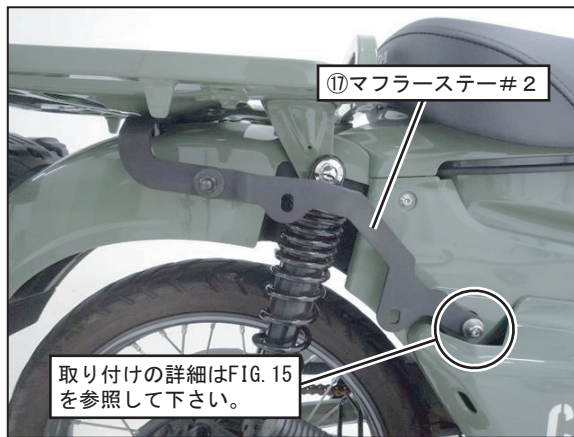


FIG. 14

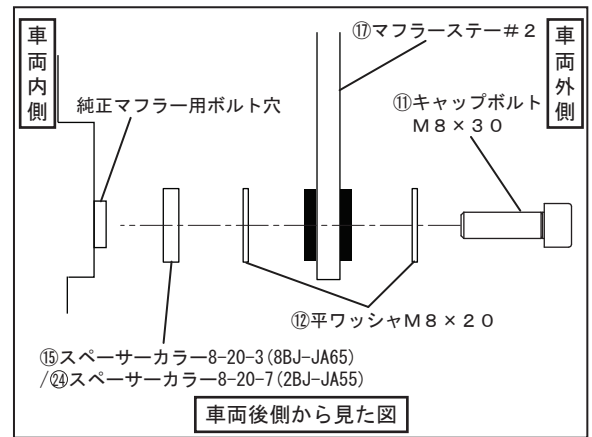


FIG. 15

- △注意** 以降の作業では黒色塗装されたマフラーASSYを取り扱います。キズや焼け跡を発生させないため、以下の点を守って作業を行って下さい。
- ・黒色塗装面に触れる際は、綺麗な手袋を着用して下さい。
 - ・取り付け時に車両や他部品、工具等と接触する可能性がある際は、ウエス等で養生して下さい。(テープ類での養生は、接着面が黒色塗装面に残って跡になる可能性がある為、お勧めしません。)

11. 純正エキゾーストガスケットを新品に交換し、①エキゾーストパイプをエンジンの排気ポート部に純正ナットを使用して仮締めして下さい。(FIG. 16, 17参照)

- △注意** 必ずメーカー純正のエキゾーストガスケットを使用して下さい。



FIG. 16

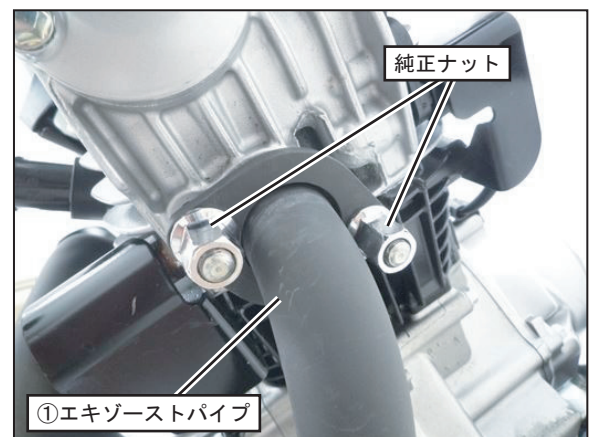


FIG. 17

- 1 2. ①エキゾーストパイプに②サイレンサーを取り付け、②マフラスプリングをスプリング取付工具を使用して取り付けて下さい。(FIG. 18, 19参照)

⚠危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れないように十分注意して下さい。
(怪我をする恐れがあります)



FIG. 18

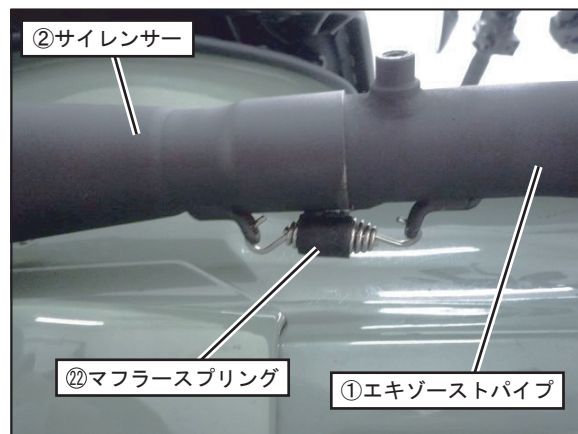


FIG. 19

- 1 3. ②サイレンサー前側のステーの穴位置を⑩マフラステー#2の穴位置に合わせ、⑨六角ボルトM8×20、⑧平ワッシャM8×22、⑦SUSワッシャM8×22(黒)、⑥袋ナットM8(黒)を使用して仮締めして下さい。(FIG. 20, 21参照)

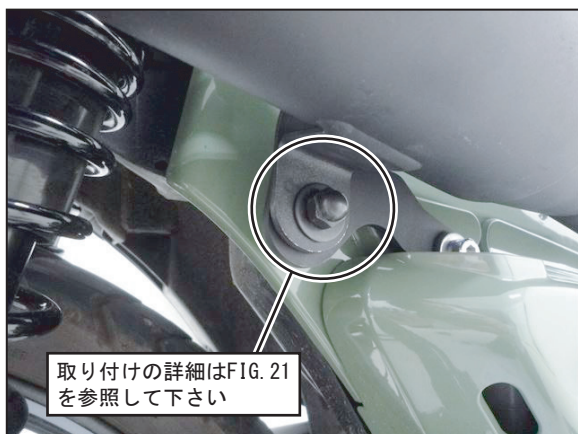


FIG. 20

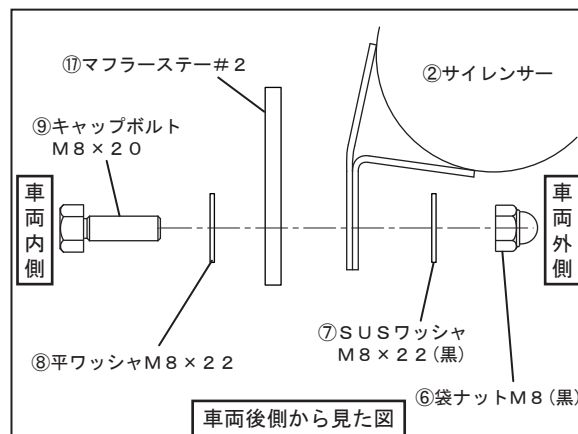


FIG. 21

- 1 4. ②サイレンサー後側のステーの穴位置を⑩マフラステー#2の穴位置に合わせ、⑨六角ボルトM8×20、⑧平ワッシャM8×22、⑦SUSワッシャM8×22(黒)、⑥袋ナットM8(黒)を使用して仮締めして下さい。(FIG. 22, 23参照)



FIG. 22

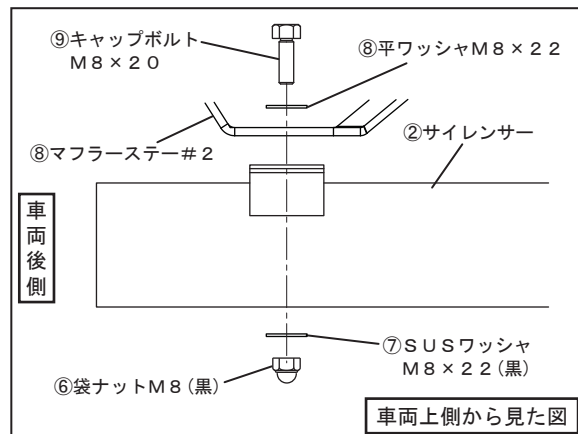


FIG. 23

15. マフラーと車両各部のクリアランスを調整し、排気ポート→キャップボルトM8→ステー#1/＃2を留めるボルトM8→キャリア上部を留めるフランジ六角ボルトM8の順に仮締めしたボルト、ナットを規定トルクで締め付けて下さい。(FIG. 24参照)

注意	規定トルク	
	純正ナット (排気ポート部)	: 15 Nm
	キャップボルトM8 (ステー#2前側)	: 15 Nm
	六角ボルトM8 (ステー#1及び#2取付部)	: 23 Nm
	フランジ六角ボルト (リアキャリア上部)	: 23 Nm



FIG. 24

16. ⑤ヒートガードを①マフラーASSYのナット位置に合わせ、④SUSワッシャM6×13、③ボタンボルトM6×10ネジロック付きを使用して規定トルクで締め付けて下さい。(FIG. 25参照)

注意	規定トルク	ボタンボルトM6	: 10 Nm
-----------	-------	----------	---------

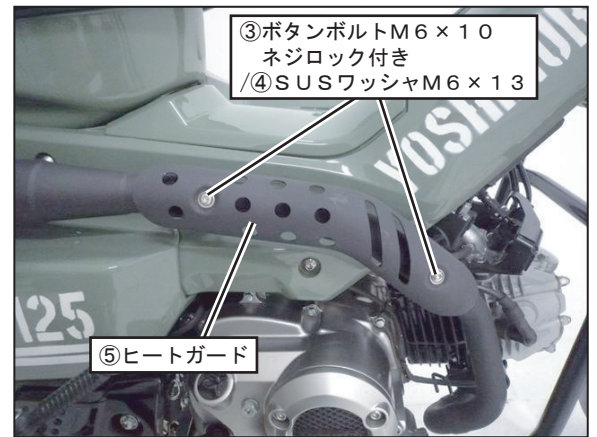


FIG. 25

17. マフラーと車両各部とのクリアランスがエンジンに対して5mm以上、その他部位(カウル、スイングアーム、ゴムホース等)に対して8mm以上確保できていることを確認して下さい。クリアランスが確保できない場合はマフラーのボルト・ナットを緩め、再度位置を調整して下さい。

危険 位置調整を行ってもクリアランスが確保できない場合は取り付けを中止し、ヨシムラジャパンのお問い合わせ窓口までご連絡下さい。
十分なクリアランスを確保していないまま使用すると、車両やマフラーの破損等の重大なトラブルに繋がる恐れがありますので決して使用しないで下さい。
上記を無視して使用した場合に発生した不具合(事故、車両や製品の破損等)は保証の対象外となります。

18. 中性洗剤、ウエス等でマフラー全体を良く脱脂して下さい。指紋などが付着したままエンジンを始動すると、色ムラとなって残ってしまうことがあります。

注意 パーツクリーナー等の薬品を使用すると、塗装の溶け・剥がれの原因となりますのでご使用にならないで下さい。尚、洗剤により塗装面を痛めるものがございますので、ご注意下さい。
洗剤は付着を残さない様に水で洗い流して下さい。付着した洗剤はエンジン始動時、焼け跡の原因になります。ウエス等を使用する際は柔らかい材質の物を使用して、やさしく押さえるように拭いてください。固い材質の物で拭いたり、擦るように拭くと、キズの原因になります。

19. 手順2, 4で外したアンダーガード、エアダクトを元に戻して下さい。

20. 暖気運転を行い、排気漏れが無いことを確認し、エンジンが完全に冷えてから各ボルトの増し締めを行って下さい。



マフラー取り付け直後の暖機運転ではブリッピング等を行わず、5分から10分ほど(季節や気温によって異なる)行って下さい。
この時、熱によって塗料内の揮発成分がガスになりマフラー表面から白煙が発生しますが、塗装が定着すると発生しなくなります。その後、エンジンを止めて自然冷却して下さい。
塗装定着前にブリッピングや高回転域を使用する運転を行うと、塗料内の揮発成分が沸騰して塗装が浮き出し剥がれてしまう恐れがあります。



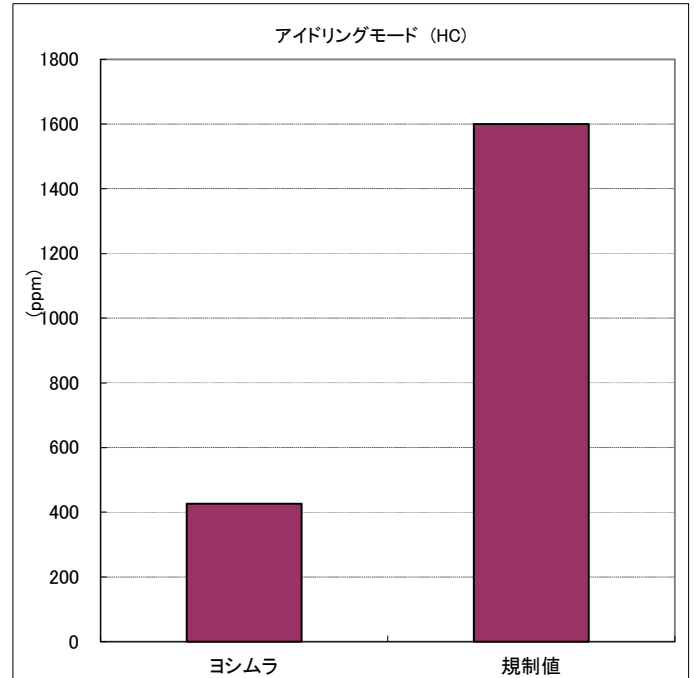
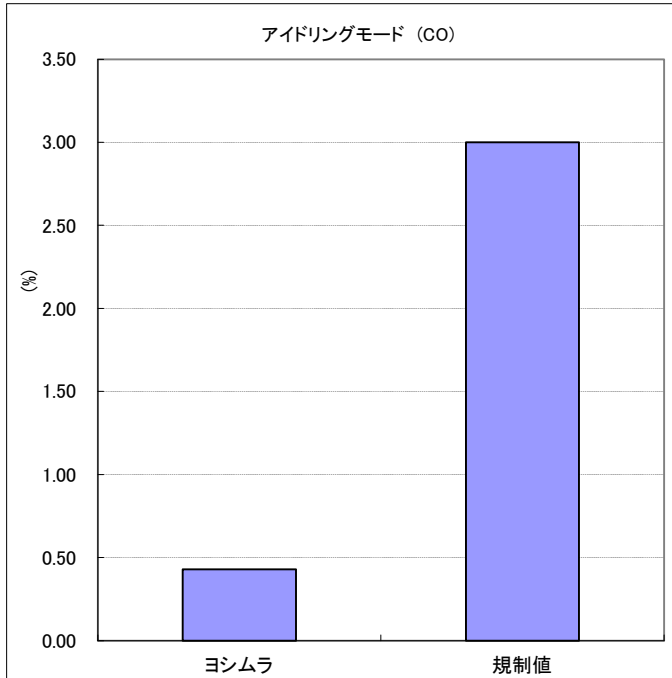
CT125 機械曲ストレート762サイクロン 政府認証

排気ガス、騒音データ表

○排ガス測定結果表 (2BJ-JA55)

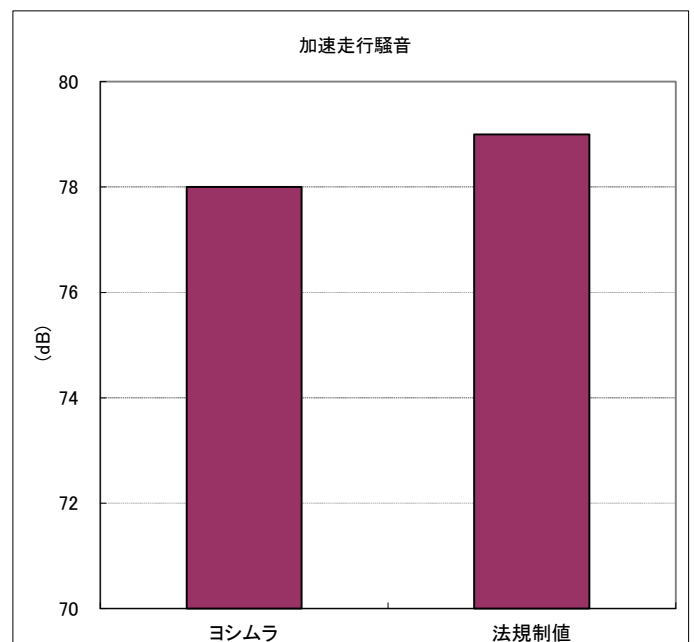
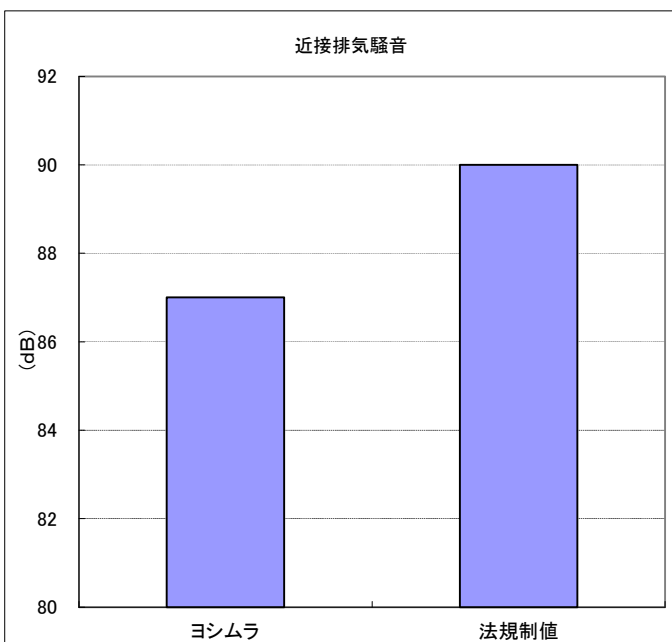
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.43	3.00
炭化水素HC(ppm)	427	1600



○騒音測定結果表 (2BJ-JA55)

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	87	90
加速走行騒音(dB)	78	79

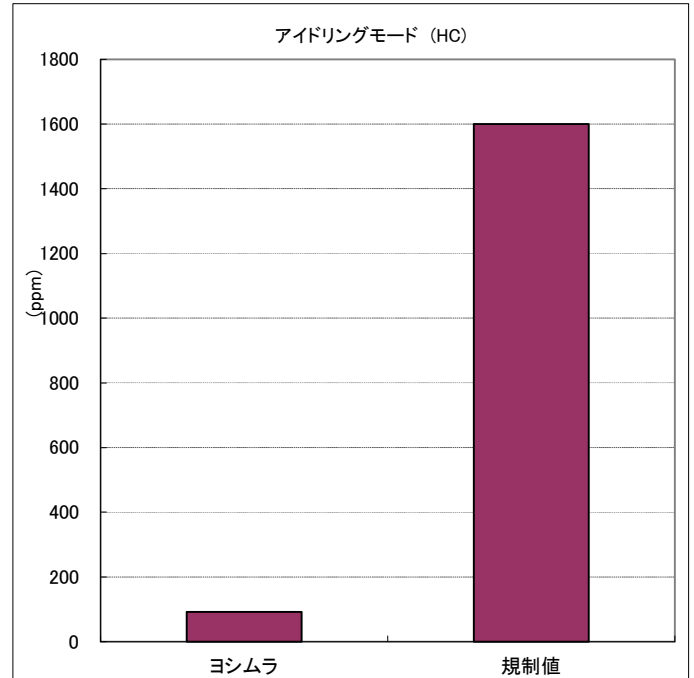
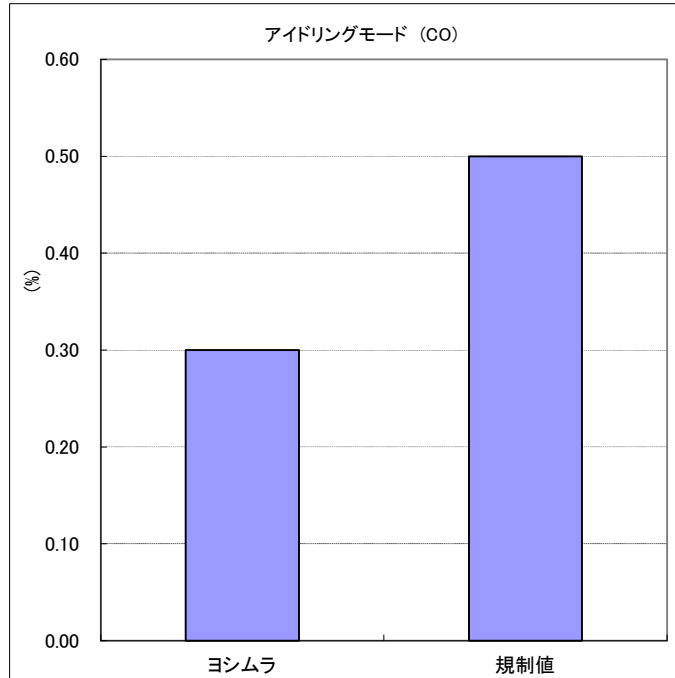


排気ガス、騒音データ表

○排ガス測定結果表 (8BJ-JA65)

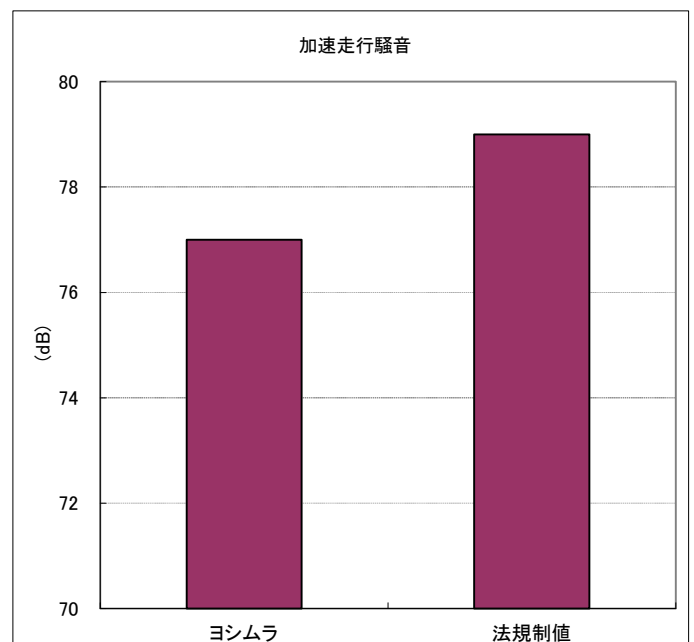
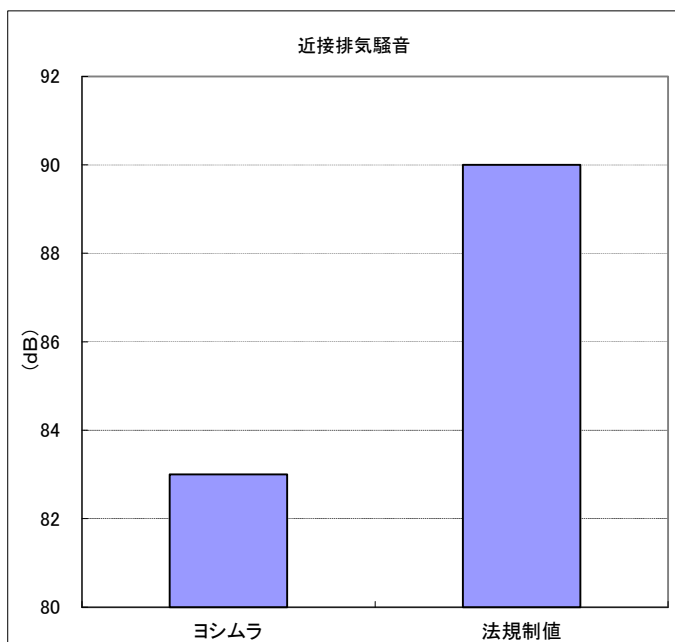
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.30	0.50
炭化水素HC(ppm)	92	1600



○騒音測定結果表 (8BJ-JA65)

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	83	90
加速走行騒音(dB)	77	79



⚠重要

※マフラーが車体と干渉したままエンジン始動や走行を行うと、火災や転倒などの事故の原因になりますので、マフラーが干渉していないことを充分確認して下さい。また、どうしても干渉が避けられない場合や、走行中に干渉しているような場合は、直ちに使用を中止し、(株)ヨシムラジャパンのお問い合わせ窓口までご連絡下さい。

⚠危険

※エンジンを始動する際は、換気の良い所で行うこと。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
※エンジン始動時は排気口に手を出したりしないこと。排気ガス中に含まれるグラスウール等が目や手などに刺さる恐れがあります。
※エンジン停止時に空吹きをして止めた場合、マフラー内部に未燃焼ガスが溜まり、着火してテールエンドより炎を発生する場合があります。テールエンドの先には引火しやすい物が無いことを確認してからエンジンを停止して下さい。発火した炎により引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。
※車両の取り扱いや商品の取り付けは適切な服装、装備にて行って下さい。怪我や火傷の原因になる恐れがあります

⚠注意

※取り付け、取扱いの不注意による返品は、固くお断り致します。
※製品に加工、改造などは絶対行わないで下さい。それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。
※他メーカー製品との適合は行っておりませんので、本製品取り付け、使用時に不具合が発生する恐れがありますが、それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。

●キャタライズドサイクロンについて

※本製品はマフラー内部に触媒を搭載した”キャタライズドサイクロン”です。環境問題を考え、排出ガスを低減しつつ従来のDSCサイレンサーと同等の性能を発揮する環境型高性能マフラーです。

●ヨシムラサイクロンのメンテナンス

※走行中アフターファイアーが激しく鳴る場合は、エキゾーストパイプ・テールパイプ等の差し込み部に、市販のマフラー用液体ガスケット等を塗りシーリングを行って下さい。作業はエンジンが完全に冷えてから行って下さい。
※マフラーが砂や泥で汚れてしまった場合は、マフラーが冷えてから水洗い等で汚れを落として下さい。定期的な増し締めを行い、マフラー各部の点検(変形、キズ、車体との干渉等)を行って下さい。
※マフラーやエンブレム等の色落ちの原因になりますので、パーツクリーナー又は有機溶剤等の使用はご遠慮下さい。マフラーの脱脂等には、中性洗剤を使用して下さい。
※サイレンサー内部の消音材は消耗品です。消音材が消耗すると音量増加のみでなく、出力の低下にもなります。消音材が消耗した場合は、リメイクサービスをご利用いただくことにより、長く安心してご使用いただけます。リメイク内容についてはお問い合わせ下さい。また、転倒などによる損傷の場合には、(株)ヨシムラジャパンに連絡の上、修理または損傷部品の交換等を行って下さい。

●2年保証について

※レーシングサイクロンを除く全ての一般公道用サイクロンは保証対象です。オンライン保証登録をして頂き、購入日を証明するレシート等を保管して頂くことにより、購入日から2年間の保証対象となります。
※登録方法につきましては右記のQRコードから又は下記のアドレスよりオンライン保証登録のご案内ページを参照して下さい。
※使用過程で発生した商品の変色・錆・塗装剥がれにつきましては、保証対象外となりますので予めご了承下さい。特に素材に鉄やアルミを使用した部分は、使用期間や走行距離にかかわらず錆が発生する場合があります。同様に塗装商品も使用期間や走行距離にかかわらず塗装剥がれが発生する場合があります。長く商品をご使用いただく為にメンテナンスが必要となりますが、ヨシムラジャパンでのリメイク/再塗装サービスもご用意しております。詳しくはヨシムラジャパンホームページをご覧ください。
※製品については慎重に品質管理を行っておりますが、万一不良・不都合がありましたら保証規定に従い保証対応を致しますので、お買い上げ店又は(株)ヨシムラジャパンまでお知らせ下さい。

オンライン保証登録のご案内：<http://www.yoshimura-jp.com/products/online-warranty.php>

保証登録のご案内



アフターサービスのご案内



●「政府認証マフラー」について

※本製品は、騒音規制に適合するため「近接排気騒音」「加速走行騒音」を測定して法規制値をクリアし、公的認証機関の試験に合格した「政府認証マフラー」です。
※詳しくは、ヨシムラジャパン、販売店又はJMC A事務局までお問い合わせ下さい。

(株)ヨシムラジャパン 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津6748

マフラーリメイクのご案内



・マフラーに関する技術的なご質問、ご相談
・マフラーの修理や商品に関するご質問、ご注文

お問い合わせいただく際は、「商品名」「商品番号」「車種」「車両年式」「車両型式」をご確認の上、ご連絡下さい。

お問い合わせのご案内

